

2017 年度 協豊会関東地区

第 2 回グループ活動を開催しました

協豊会関東地区は今年度第 2 回目のグループ活動として、異業種優秀企業工場見学会を 9 月 15 日(金)にオムロン太陽株式会社様（大分県別府市）を訪問して開催しました。

当日は協豊会関東地区会員会社の 39 社から 41 名が参加し、今年度のグループ活動で掲げているテーマ「2020 年東京オリンピック・パラリンピックへの盛上げに向けた障がい者やパラスポーツへの理解促進」の取組みとして、オムロン太陽様の工場を見学し、車いすバスケットの体験もさせていただきました。



オムロン太陽様は 1972 年に日本で初めてとなる「障がい者を雇用・支援する福祉工場」として誕生し、別名「車いすのある工場」とも呼ばれています。（2017 年 5 月現在、社員の約 5 割が障がい者で構成）

今回の見学会では先ず、オムロン太陽創設者の想いや企業理念・社憲、運営の体制・方針についてのご説明をいただき、続いて障がい者と健常者がともに働く生産現場の様子とオムロン太陽のあゆみを展示した歴史館を見学させていただきました。それらの見学を通じて、誰もが働きやすい作業環境を整備し生産性と品質を高めるために、様々な障がいを持つ社員個々のハンディキャップに適応した工夫・改善に社員自らが取り組んでいる状況を見聞することができました。



そして、工場見学会の後には同社の体育館でスポーツ用車いすの試乗を行ない、車いすの操作方法を一通り練習したところで車いすバスケットの体験をさせていただきました。参加者は皆、車いすバスケットは知っていましたが、自分達で実戦をしてみるとその難しさが分かり、珍プレイの連続で笑いの絶えない楽しい体験会となりました。

今回の工場見学会では、より良い仕事、生活、社会に向けて「健常者も障がい者も何も変わらず一つになって取組んで行く」ことの素晴らしさを感じるとともに、参加した一人ひとりが「心のバリアフリー」について改めて考えてみる機会となりました。



参加された皆様